



志學館大学生涯学習センター通信

志學館大学・かごしま県民大学 連携講座 「中高年のための使ってわかる！パソコン講座」

2015年8月1日（土）、2日（日）開催
講師：志學館大学法学部准教授

大野 隆 士 氏

本講座は、志學館大学とかごしま県民大学の連携講座として、2015年8月1日（土）～2015年8月2日（日）の2日間にわたり開催しました。コンピュータ分野の講座開講は、生涯学習センターとして、はじめての試みでしたが、40代から80代まで、幅広い年齢層の受講者に参加いただきました。

講座では、絵手紙の作成を通じ、マウス、キーボードの使い方から、文書作成、画像の加工、住所録作成、印刷までの一連のパソコンの基本操作を学んでいただきました。追加の特殊なソフトウェア等がなくても、一般に販売されているパソコンに付属するソフトウェアを中心に操作を学び、自宅に戻られてからも、ご自身のパソコンで、本講座での学びを生かせるよう、講座内容を構成しました。

初日は、コンピュータや周辺機器各部の名称やその機能説明、マウスやキーボードの基本操作を中心に、主に文字入力や文書作成に関係のある操作を学習しました。ワープロソフトを用いた入力、文字の装飾、図形やカットの差し込み、印刷までの一連の手順です。

2日目は、iPadによる写真の撮影、表計算ソフトを用いた住所録の作成、ワープロソフトを用いてハガキの宛名の差し込み印刷、日本郵便の「はがきデザインキット」を用いたイラストの作成や写真の取り込みなど、複数のソフト



パソコンの基本操作の説明をする大野隆士先生



情報技術研究会の学生がわかりやすくアドバイス

ウェアを組み合わせた操作を学習しました。最後は慌ただしかったのですが、無事、印刷まで完了させることができました。

2日間とも、講座の「使ってわかる！」の言葉通り、各人に一台ずつのコンピュータを操作しながら受講していただきました。また操作にあたっては、本学、情報技術研究会の学生のみなさんにサポートをしてもらいました。

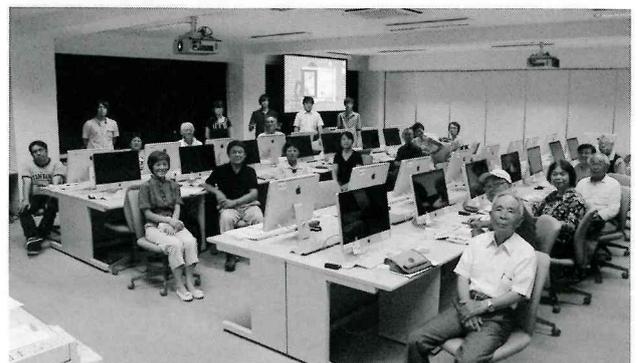
受講後のアンケートでは、「ボランティアや地域活動に生かしたい」、「日記や旅行記などに使いたい」など、趣味や地域活動で活用したい旨の記述が多く、おおむね好評を頂き、有意義な時間を過ごせた様子がうかがえました。学生たちの丁寧な補助も好評でした。講座後の雑談では、セキュリティの話やタブレットやスマートフォンの活用などの講座も開いて欲しい、という要望もいただきました。

生涯学習センターとしてはじめてのパソコン関連講座でしたが、この分野でのニーズがあることが確認出来ました。今回の経験をふまえ、今後もコンピューター分野の講座を開催していけたらと思います。

（大野隆士）



大学屋上からの絶景をiPadで撮影する様子



講座を終えて記念撮影 志學館大学コンピューター室にて

平成27年度ニューライフカレッジ霧島 隼人学「五感で学ぶ地域の魅力」開催中

霧島市教育委員会・鹿児島高専との連携講座「ニューライフカレッジ霧島」は標記のタイトルで今年度もスタートしました。視・聴・嗅・味・触の感覚をフルに使って地域の魅力を学びなおそうという試みです。好評の内に第4回までを終了しました。今号ではここまでの内容をお伝えします。会場は前期の第1・2・4・5回は国分公民館（シビックセンター内）、第3回は志學館大学（鹿児島市内）、後期6回以降は鹿児島高専です。これからも楽しい講座が続きます。どうぞお楽しみに。（岩橋恵子、山崎桂子）

第1回 「ふるさと」の心 5/9(土) 言葉の「ふるさと」

詩人・デザイナー・エッセイスト
岡田 哲也 氏

「私は14番目の末っ子です。父母が駆け落ちをしまして…」、昭和20年代の出水市を舞台とする岡田ワールドにのっけから引き込まれてしまいました。「棒手振（ぼてふり）」「横座（よこざ）」「なもたん」などふるさとの言葉に関わる母親の思い出を新刊詩集『酔えば逢いたい人ばかり—薩摩焼酎讃歌』の朗読を交えながら語られ、最後に「一般的な言葉では駄目だ。自分には自分の言葉—ふるさとの言葉—があるのだから自信をもってこれを使うことが大切だ」と締め括られました。懐かしい言葉を聴き、詩的な情感に触れた母の日前日のひとときでした。



第2回 私が霧島で出会った 6/13(土) 美しいものたち

シンガーソングライター
隼人 加織 氏

「隼人」という名字と自分自身のルーツを訪ねるべく、数年前に初めて霧島市隼人町とその近辺を旅したときに感じた地域の魅力に引き寄せられるように、現在霧島市に住んでいるという隼人氏。この地域に住む私たちも知らない霧島の自然、文化、そして人を、隼人氏ならではの感性で豊かに語ってくださいました。最後は、隼人氏を囲んで、ボサノバの演奏と歌声に酔いしれた時間となりました。



第3回 鹿児島島の地形を感じる 7/11(土)

志學館大学人間関係学部講師
宗 建郎 氏

まず弧状列島日本の地形をプレートの仕組みから解き明かされ、その上で、全国的にみても特異な鹿児島島の地形の特徴（カルデラ、火山岩頸、シラス台地など）とその成り立ちの理由が多くの画像などを用いながら詳細に論じられました。受講者は、鹿児島島の地形を模型に触れて語り合ったり、迫力のあるCGを通してそのリアル観に驚いたりしながら、鹿児島は地形の不思議を楽しみながら学び感じることのできる宝庫だと実感しました。



第4回 鹿児島生まれの薩摩琵琶で 8/8(土) 世界と文化交流

薩摩琵琶演奏家
櫻井 亜木子 氏

薩摩琵琶の特徴とその魅力を、楽器の歴史（ルーツは何と1300年前）とその性格（聴かせる音楽としてではなく自己の精神の統一のために生まれた）に関わる興味深い話に続いて、この春文化庁「文化交流使」として世界7か国で公演された様子が、国境を超えた薩摩琵琶への深い受け止めとして生き生きと語られました。そして、極めつけはもちろん、演奏！ 平家物語冒頭の祇園精舎と那須与一を、哀愁を帯びた薩摩琵琶の音色にあわせて語られ、受講者を魅了されていました。



第15回学校臨床セミナー ～鹿児島女子短期大学との連携事業～ 『子どもの“勉強”への意欲を考える』



多くの皆さんに支えられて、学校や教育、子どもたちに関する話題について考えてきました学校臨床セミナーは、本年度で15回目となりました。ありがとうございます。

今年は、本学名誉教授片平眞理先生と鈴木雄清准教授をお招きし、「子どもの“勉強”への意欲を考える」と題して、平成27年8月6日に行われました。「勉強」を題材にしながら、子どもたちの意欲を高めたり、強く動機づけるための心理学的な知見や見方について考えていくセミナーでした。

午前中、鈴木先生には、教育工学・教育心理学的観点から、動機づけについてのARCSモデルについて、豊富な事例、具体例をとともにお話し頂きました。

午後からは、片平先生に、家族心理学・家族システム論を踏まえた、実際の、実践的な関わり方や考え方についてお話し頂きました。

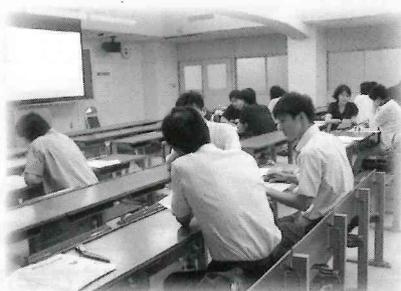
セミナーに参加した皆さんからは、動機づけやコミュニケーションなど、これから子どもたちとの関わりにヒントになる内容がたくさんあった、今後活かしていきたい等の感想を頂きました。(神園紀幸)



鈴木雄清准教授



片平眞理名誉教授



セミナー風景

地域の皆様と共に 「ジョヴァンニ・アレヴィ ピアノコンサート&剣道部交流」



平成27年6月27日(土)、イタリアの有名作曲家兼ピアニスト、ジョヴァンニ・アレヴィ氏が来学し、志學館大学カフェテリアにてコンサートが開かれました。また、剣道場「鴻志館」にて剣道の見学や学生との交流が行われました。この企画は、本学が紫原キャンパスに移転してから5年目を迎えた今年、紫原校区まちづくり協議会のご協力をいただき、学生も運営に参加し、市民の皆様への感謝の気持ちを込めて実施されたものです。

クラシック界に新風を巻き起こし、「21世紀のモーツァルト」とも称され

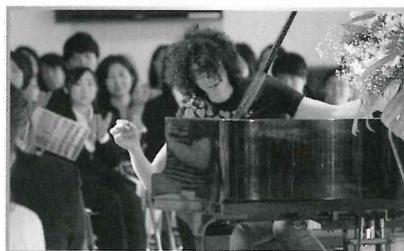
るアレヴィ氏の音楽生活の中でも初めて、大学しかもカフェテリアでの演奏が実現しました。“Japan”や“Tokyo Station”など日本をモチーフにした曲もあり、同氏の親日家ぶりがかえりました。そして熱気冷めやらぬ中、剣道場へ移動して行われた稽古見学と交流では、同氏が日本や日本文化への同一性をより一層強く感じてくださいるとともに、地域の方々もご一緒に武道の精神性に接し感激して下さる機会になったようです。様々な年代の方々が多数駆けつけ、「とても素晴らしかった。このような機会があればまた教えてほしい」と大変喜んでくださ

ご理解ご協力をいただく場とすることもできました。心より御礼申し上げます。

大学の施設開放や学生交流、音楽・武道等に触れる機会が、地域の皆様にとっても学生・教職員にとっても、楽しみや生涯学習としていただけたのではないかと嬉しく思っております。今後も様々な学習空間を提供して参りたいと存じますので、アイデアやご要望等をお気軽に当センターまでお寄せいただけましたらありがたいです。(志賀玲子)



志學館大学剣道場「鴻志館」にて

Tシャツとジーンズがトレードマークの
ジョヴァンニ・アレヴィ氏



「共修講座」の受講者の声をお届け致します。

- * 生涯学習の一貫として、学生さんと一緒に講義を受けられて、大変感銘しました。ありがとうございました。
- * 先生の指導は分かりやすく、双方向的で楽しくあっというまの講義でした。
- * 楽しく充実した時間でした。
- * 熱心な講義を毎週楽しく勉強しました。
- * 普通の授業では得られない多角的な講義は魅力的でした。
- * 正規の学生でなくても学びたい時にその場が得られるのはいいと思います。
- * 事務局の方々が、とても親切でした。



「共修講座」後、上記のような感想をお寄せいただきました。ありがとうございました。その他、「高齢者に限り駐車場を開放してほしい」というご要望等もいただきましたので検討してまいります。これからも「共修講座」が、受講者の皆様にとりまして、有意義な時間となりますようさらなる努力をしてまいります。(野浪俊子)

平成 27 年度 志學館大学 生涯学習センター 後期開講講座

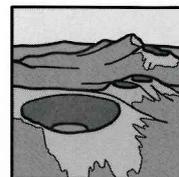
志學館大学生涯学習センターでは、平成26年度・後期開講講座として下記のようなプログラムを企画しております。より豊かな秋の学びとしては是非チャレンジください。

◆ 2015 年度 ニューライフカレッジ霧島

【志學館大学・鹿児島工業高等専門学校・霧島市教育委員会 連携講座】

テーマ：隼人学「五感で学ぶ地域の魅力」

【後期（10月～2月） 時間：9:30～11:30 会場：鹿児島工業高等専門学校】



日 時	講 座 内 容
10/10 (土)	「霧島温泉のもたらす KOUNOU」 六三四氏 (温泉ソムリエ)
11/14 (土)	「福山の『壺づくり黒酢』」 長野正信氏 (鹿児島県天然つぼづくり米酢協議会)
12/12 (土)	「エンジョイ! 霧島茶」 竹之内裕子氏 (日本茶インストラクター)
1/9 (土)	「太陽が作る宇宙の天気～宇宙の入り口鹿児島から太陽を見る～」 篠原学氏 (鹿児島工業高等専門学校教授) ・シンポジウム 「五感で感じる地域の魅力」
2/13 (土)	・閉講式 コーディネーター：岩橋恵子氏 (志學館大学教授)

◆ 《よくわかる中国語講座 (初心者対象) ～中国語で話そう～》



講 師	日 時	会 場	定員	受講料
谷口明夫 (志學館大学名誉教授)	10月20日 (火) ～ 1月26日 (火)	サンエールかごしま	20名	12000円

◆ 《志學館大学银杏祭での生涯学習センター展示》

☆志學館大学の「银杏祭 (大学祭)」が、11月21日 (土) ～ 22日 (日) に開催されます。本学の生涯学習センターのこれまでの活動内容や記録などを展示いたします。是非、ご来場ください。

< 編集後記 >

残暑厳しい中にも秋の気配を感じる季節となり、実り豊かな秋を迎えますが、皆様いかがお過ごしでしょうか。

芸術の秋、学びの秋に向かって、皆様の日々の生活の中に、本学の生涯学習センターの講座をお役立ていただければ嬉しく思います。

地域社会の皆様と共にあり続ける生涯学習センターを目指し努力したいと思っております。



(野浪・森)

お問い合わせ・お申し込み先



志學館大学生涯学習センター

住 所 〒890-8504
鹿児島市紫原1丁目59-1

Tel.099-812-8501 (代表)

Fax.099-257-0308

URL <http://www.life.shigakukan.ac.jp>

Email life@shigakukan.ac.jp